

WELCOME EKI

多くの人が訪れ・働き・学び・住みたい街へ

PICK UP NEWS!

第16回定期総会

2023年4月21日開催

第16回定期総会を開催し、以下の通り事業計画及び予算が承認されました。当エリアでは、モニュメント「飛翔」の撤去が進み、名古屋駅前の姿は日を追うごとに変化しています。今年度は、駅前広場を含む公共空間の将来像を名古屋市と共に検討しながら、会員様同士の交流、名古屋駅前のにぎわいを生み出す活動に、一層力を入れて取り組んでいく予定です。



2023年度 名古屋駅地区街づくり協議会 事業計画

名古屋駅地区の
コミュニティ形成を目指した
活動の企画運営

- ◎清掃・緑化維持推進・違法駐輪対策等の定常的な活動の実施
- ◎会員イベント等の企画や他団体とのイベントの共同開催の検討・実施

公共空間の形成、交通、
景観に関する諸施策の検討

- ◎自転車の将来像についての検討
- ◎新モビリティへの対応検討
- ◎名古屋駅都市景観形成基準についての検討

安心・安全街づくり活動の
取り組み

- ◎行政との協力、連携による地震・水害に対するエリア防災計画の策定推進
- ◎共同防災訓練等による減災能力の向上、エリア防災計画の周知と検証
- ◎浸水検知システムの運用

公共的空間の
利活用に関する検討・実施

- ◎国家戦略特区による道路占用事業の推進
- ◎歩道等、公共空間の利活用等に関する検討・実施
- ◎新たな財源確保に向けた検討

名古屋駅地区の魅力向上策の実施

- ◎賑わい創出のためのイベント等の企画・推進

協議会組織の強化、
行政機関
および他地域との連携

- ◎地区を代表するエリアマネジメント組織としての存在感向上
- ◎会員相互の絆づくり・コミュニケーションの強化
- ◎全国組織や、市内・他都市のエリアマネジメント組織との連携強化
- ◎名古屋駅前広場等の再整備計画に伴う将来ビジョン(案)の検討

協議会活動に関連した広報、イベント、その他の目的達成に必要な事業

新副会長あいさつ

名鉄都市開発株式会社
田邊 剛 氏



副会長にご選任いただきました田邊でございます。名駅地区は、オフィス、商業、ホテルなどの開発が進んでおり、リニア開業も控えております。名古屋の玄関口として、広場空間整備や乗り換え利便性の向上、さらには地区全体の魅力を向上させることにより、居心地のよい名駅の実現が必要だと思っております。当地区のまちづくりに、大変微力ではありますが、お役に立てればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

会員入会について

賛助会員1社(名鉄プロパティマネジメント様)の入会により、正会員44社、賛助会員70社となりました。どうぞよろしくお願いいたします。

2023年度の主な取り組み

駅前広場 将来像検討WG

今年4月に駅前広場に隣接する地権者および関連する委員会の委員長、そして名古屋市で「将来像検討ワーキンググループ」を組成し、毎月2回、将来ビジョン案の検討を進めています。

名古屋市の目指す「世界に冠たるスーパーターミナル・ナゴヤ」の実現のためには、単にハード整備をするのではなく、官民一体となったエリアマネジメントによる持続的な取り組みが必要です。

10月に開催予定の中間報告会では、ビジョン案の公表を予定しており、その後は会員や名古屋駅前を利用する皆様等のご意見をお聞きしながら新しい駅前のイメージを具体化していきたいと考えています。



▲定例協議の様子



▲飛翔工事現場見学

街づくり講演会を開催しました

今回は全国でも大変注目されている、なんば駅前の改造計画、御堂筋のフルモル化などの公共空間の再編について、大阪市建設局の小松氏にお話をいただきました。また、併せて、名古屋市住宅都市局の渡邊氏に、名古屋駅東西駅前広場の再整備についてお話をいただきました。

会員の皆様からは「まちづくりと道路整備の関係性が非常に大切であり、かつ、調整等が大変であることが再認識できた」「データ・社会実験の両面から、地元の方の懸念にアプローチしている点が参考になった」「今後の名駅広場の再編や桜通りの歩道のあり方を検討する上で大変参考になる」などのお声をいただきました。

2023年4月21日開催



新幹事長、委員長紹介

幹事長

委員長
河合 貴行 氏

(東海旅客鉄道株式会社)



この度、幹事長を務めることとなりましたJR東海の河合と申します。名古屋駅の東側では、象徴的な存在であった「飛翔」が解体され、新たな顔となる広場整備に向けて動き始めております。私自身も、生まれ育った名古屋の街がどのように変わっていくか、大変期待しております。名駅エリアのさらなる魅力向上のために、本協議会の活動を通じて貢献してまいりたいと考えておりますので、引き続き会員企業の皆様のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

地域活動委員会

委員長
瀬戸 章宏 氏

(三菱倉庫株式会社)



この度、地域活動委員会の委員長を務めさせていただきます三菱倉庫の瀬戸です。当委員会では、おもてなし花だんの花植えや毎月の清掃といった活動を通して、地域の方や訪れる方にとってより良い名駅地区となれるよう尽力していきたいと思っております。また、西柳公園がより地域の方に愛される公園になれるよう、様々な課題解決に取り組んでいきたいと考えております。引き続き、会員の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

安心安全委員会

委員長
岸田 樹 氏

(西日本電信電話株式会社)



今年度、安心安全委員会の委員長を務めることになりましたNTT西日本の岸田です。昨今は、自然災害だけでなく、異常気象による水害等の激甚化にも備える必要があります。名古屋駅前地区を訪れる方に安心してお過ごしいただけるよう、行政や関係各社と連携し、スピーディーな情報伝達による被災状況の早期把握・アクションプランの明確化を行い、防災レジリエンスを高めていきます。皆様のご協力量よろしくお願いいたします。

各活動について

地域活動委員会

放置自転車追放キャンペーン

2023年5月11日開催

名古屋市主催の「放置自転車追放月間キャンペーン活動」に参加いたしました。3年ぶりに街頭にて、ティッシュや反射板などの自転車グッズを配り、自転車駐輪の啓発活動を行いました。



名古屋市クリーンキャンペーンに参加

2023年6月3日開催

名古屋市クリーンキャンペーンに参加いたしました。土曜日の開催でしたが、当協議会からは46名の参加があり、例年通り錦通を担当しました。西柳公園は相変わらず缶等のゴミが多く、お子様も含めた皆さんでかなりのゴミを捨てくださる姿もありました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました！



おもてなし花だん 第24期

5月22日～26日にかけて、花の植え込みを行いました。今回より新たに 株式会社 榊がサポーターに加入して下さり、合計23社で名駅周辺を彩りました。

(引き続きサポーターを募集しますので、皆様のご応募お待ちしております)



タワーズガーデン前花壇の花植え 2023年5月25日実施

サポーターの皆さんと花植えを予定しておりましたが、当日は雨予報のため、イベントは中止になりました。奇跡的に雨にはならず、名古屋市を含む関係者で花壇の花植えを行いました。



名古屋市「花の環花だん」について

名古屋市では、今年度から「花の環花だん」の取り組みが始まりました。この取り組みは、名古屋を訪れる方へのおもてなしと花いっぱい町のまちづくりをめざして、地域のみなさまとともに花壇づくりを行うものです。

今回は、新たに名古屋駅ロータリー付近にできた「花の環花だん」の花植えも併せて行いました。野菜畑で取り上げられた植栽帯でしたが、デザインされた花壇に変わり、明るい雰囲気になりました。ぜひ現地でご覧ください。



自転車走行空間調査・意見交換を実施

2023年5月18日実施

都市再生委員会における自転車利活用検討の一環として、5月18日に自転車走行空間の調査を行いました。シェアサイクルに乗車し、実際に名駅通や桜通の歩道および車道を走行しました。名古屋駅前を自転車で走行した経験がない方も多く、ちょっとビクビクしながら走行。名駅通(名古屋駅側)は歩道も車道も走行しづらく、他にも歩行者の目線では気付くことができなかった危険な箇所もありました。また、伏見通には自転車道があり、走行のしやすさを体感できました。この結果を踏まえて、歩行者・自転車・車・荷捌き等の機能分担により、安全で快適に歩行・走行・活用できる空間のあり方を検討してまいります。



その他の活動

全国エリアマネジメントネットワーク

2023年6月8日・9日開催

『エリアマネジメント実務者研修#01「プレイスメイキング講座」』への参加

全国エリアマネジメントネットワークでは、エリアマネジメントに従事する実務者の育成、能力向上を目的に、エリアマネジメントに関わるいくつかのテーマを設定し、実務者同士のディスカッションやケーススタディを行う研修事業が行われています。

今回、「プレイスメイキング」をテーマにした講座に参加されたお二人に感想をお伺いしました！

※プレイスメイキング講座内容：

公共空間活用の概論や法制度の解説、場のデザインのケーススタディ等を実施。



川内 友晴 氏 (名鉄都市開発株式会社)

6月8日～9日に東京で開催された『全国エリアマネジメント実務研修』に参加いたしました。実務に必要な知識や国内外の事例を学ぶことで、プレイスメイキングについて知見を深めることができました。

また、全国のエリマネ従事者から各エリアの特色ある事例を聞くことや、人的ネットワークを拡げられたことが、今後エリマネ活動に携わる上で非常に有意義な機会となりました。この経験を活かし、名駅エリアのエリマネ活動により一層励んでまいります。

春日井 麻友 氏 (西日本電信電話株式会社)

全国エリアマネジメントネットワーク主催のプレイスメイキング講座に参加し、居心地の良い公共空間を作る手法を学びました。参加者と街歩きを行い、時間帯や見る人によって、いろいろな景色があることに気づきました。

また、街に関わる方々と時間をかけて交流することでより良い街づくりを実施できること、そして、街の課題に応じた様々な取組みがあることを知りました。講座での学びを今後の街づくりに活かしていきたいと思っております。

nagoまちスペース制度（名古屋市）の紹介

居心地が良く歩きたくなる「ウォーカブルなまちづくり」の実現を目指す名古屋市では、都心部における公開空地等の基準を見直し、2月13日に「Nagoyaまちなかオープンスペース制度」が新設されました。一般公開された建物敷地内の空地は通称「Nagoまちスペース」と呼ばれ、この制度を利用する民間事業者等により、「憩いや賑わいが生み出される居心地の良いオープンスペース」が街中に整備されていくことが期待されています。

5月12日から6月3日には、居心地が良く歩きたくなる「ウォーカブルなまち」を体験できるイベント「NagoまちWeek」が実施されました。名駅でのイベントの様子をご紹介します！

新制度についての詳しい情報はこちらから

名古屋市主催 2023年6月3日開催

ヤサシイマチメイエキ2023 at シンフォニー豊田ビル



映画館が入ることで市民から親しまれているシンフォニー豊田ビル（トヨタ不動産）では新制度を活用し、緑で潤う並木道「グリーンモール」のリニューアルを実施。これに合わせ、“映画とドーナツ”をテーマにした「ヤサシイマチメイエキ 2023 at シンフォニー豊田ビル」が開催されました。

名古屋市が新設した「Nagoyaまちなかオープンスペース制度」によって、どのような憩いの場が生まれているのか、事務局メンバーもイベントに参加してきました！

リニューアルされたグリーンモールには、オフィスワーカーが作業できそうなハイテーブルや、デートやファミリーでゆっくりくつろげるベンチ等が設置されており、早速多くの方が利用していました。また、ビルの公開空地には、映画にちなむグッズ販売や、名古屋市のPRブースが設けられ、1F店舗「ミッドランドシネマドーナツファクトリー」前の特設DJブースからは、心をくすぐる懐かしい映画音楽が聞こえてきました。公開空地がこのような雰囲気で活用されると歩きたくなるまちなかになるのではと感じました。



▲イベントの様子



▲グリーンモールの様子

先進モビリティ試乗体験会イベント

また、この日は名古屋市主催の「先進モビリティ試乗体験」も開催され、名駅・ささしまエリアを結ぶモビリティが登場。

時速20kmでゆったりと走行するEV車両は新鮮な乗り心地で、移動中の景色やその日の気候をいつも以上に楽しむことができました。車体もかわいらしく、街を歩き交う歩行者の注目を集めていました。名古屋駅前には南北の移動手段が少ないため、今回のモビリティはこの移動にとっても有効なのでは？と感じました！

また、ささしまエリアでは、先頭車両について安全に走行するパーソナルモビリティも体験することができました。カルガモみたいでかわいかったですよ。



▲名駅・ささしまエリアを結ぶモビリティ



▲パーソナルモビリティ体験

名古屋駅地区打ち水大作戦2023を5年ぶりに開催

2023年7月26日実施

涼を呼び込む昔ながらの知恵である打ち水。名古屋駅前では、2019年に雨天中止となって以降、5年ぶりとなる「名古屋駅地区打ち水大作戦」を開催しました！

当日は、35度を超える絶好の打ち水日和の中、ミッドランドスクエア、大名古屋ビルディング、JRゲートタワーの3か所にて、約300名が一斉に打ち水を行い、街をクールダウンしました。

なお、ミッドランドスクエア前では、名古屋市上下水道局より提供いただきました「高度再生水」を打ち水に利用させていただきました。

5年ぶりですので、初めて参加される方、久しぶりの方もいらっしゃいましたが、参加されたみなさんは、猛暑にもかかわらずどなたにもこやか。一斉打ち水に向け、ずらっと並ぶ姿は圧巻で、17:00に「それ!!」の掛け声のもと打ち水を行いました。

わずかな時間でしたが、水をまいた後の風は涼やかで、名駅を愛する皆さんが嬉しそうに打ち水をされる姿を拝見し、やっと日常の姿が戻ってきたなと実感しました。

真夏のエリアイベントとして親しまれてきた打ち水ですが、来年以降は別のエリアイベントも検討中。ぜひご期待ください！

※高度再生水とは通常の下水処理よりもさらに高度な処理を行った水を、下水再生水として有効利用しており、水源に乏しい川などに下水再生水を送水することで、水環境の向上に役立っています。(名古屋市WEBサイトより)



打ち水の様子



▲ミッドランドスクエア前



▲大名古屋ビルディング前



▲JRゲートタワー前

事務局より

事務局 NEWフェイス

4月より、トヨタ不動産新入社員として事務局に加わりました、下川と申します。この春、東京の実家を離れ、名古屋の街に暮らし始めました。街協活動を一層良いものにできるよう、一日も早く仕事を身につけまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします！

NEW
FACE



新体制で頑張ります！